

<b>専門ゼミB</b>		<b>演習</b>	<b>准教授 牛島 詳力 講師 木下 美聡</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>柔道整復師コースの必修科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>12130302</b>	

### 1. テーマ

主に整形外科領域のスポーツ傷害に関するメカニズム、予防法、およびリハビリテーションをテーマとして、研究に関する基礎的知識とスキルを身に付ける。併せて、運動器のケガに関する柔道整復学への理解を深める。

### 2. ゼミのねらい・概要

本ゼミは卒業成果物を作成するためのスキルを身に付けることをねらいとする。加えて、柔道整復学への理解力を高めて「アスリートを科学的な視点でサポートできる柔道整復師」になるための礎を築く。

### 3. ゼミ計画

ゼミ計画は、概ね以下のとおりとするが、ゼミメンバーの問題意識や関心・興味等を見極めながら適宜見直しを図る。

1. 後期ゼミの進め方に関するガイダンス	9. プレゼンテーション1 (グループ1: 研究の進捗)
2. 論文調の文章とは?	10. プレゼンテーション2 (グループ2: 研究の進捗)
3. 論文の構成について	11. 柔道整復理論 (頭部・体幹)
4. タイトルの付け方とアブストラクトの書き方	12. 柔道整復理論 (肩甲帯・肩関節・肘関節)
5. 緒言の書き方	13. 柔道整復理論 (前腕・手関節・手部)
6. 方法の書き方	14. 柔道整復理論 (股関節・大腿部・膝関節)
7. 結果の書き方 (図表作成も含む)	15. 柔道整復理論 (下腿・足関節・足部)
8. 考察と結論の書き方	

### 4. 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

論文調の文章スタイルに慣れるためになるべく多くの学術論文 (質の高い論文) に目を通す時間を確保してもらいたい (おおよそ2時間以上必要)。また、プレゼンテーションやグループ学習に臨む際は、事前に十分な準備をしてからゼミに参加すること (おおよそ3時間以上必要)。さらに、柔道整復学の事前学習として、授業の該当箇所に通し、疑問点等を明らかにしておくこと (おおよそ1時間以上必要)。

### 5. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

口頭発表に関しては、コメントを通じて、そして研究計画書などの提出物に関しては、文章による添削を通じて、改善点などをフィードバックする。

### 6. ゼミにおける学修の到達目標

自然科学領域の基本的な研究方法を理解できるようにする。加えて、研究論文の作成および研究成果の発表に求められる基本的なスキルを身に付ける。さらに、スポーツ傷害をテーマとして柔道整復学への理解力を高める。

### 7. 成績評価の方法・基準

定期試験 (総合試験) (60%) とその他 (提出物、プレゼンテーションなど) (40%) で評価する。なお、成績評価にあたっては、授業回数の2/3以上の出席を前提とする。

### 8. テキスト・参考文献

授業中に適宜紹介する。

### 9. 受講上の留意事項

ゼミへの積極的な取組姿勢を期待する。

**10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**  
該当する。

**11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**  
上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。